新潟県農林公社企画提案型利用間伐等促進事業

企画提案書

団地名：○○○○団地

印

○○○○森林組合

提出者（担当者）

すずき　いちろう

TEL:

FAX:

新潟県農林公社企画提案型利用間伐等促進事業

企画提案書

複数の公社団地で一体的に施業を

実施する場合は、複数団地名を記載

【団地名】　　　○○○○　団地

【所在地】　　　○○○市　大字○○○○　地内

《年度別事業計画》

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 計画年度  事業項目 | R2年度 | R3年度 | 年度 | 合　計 |
| 植栽年度 | S54 | S55 |  |  |
| 利用間伐面積　　　（ha） | 5.00 | 5.00 |  | 10.00 |
| 保育間伐面積　　　（ha） | 0.80 |  |  | 0.80 |
| 間伐木搬出材積　　（ｍ3） | 250.000 | 250.000 |  | 500.000 |
| 森林作業道開設延長（m） | 300 | 250 |  | 550 |
| 既設路網延長　　　（m） |  |  |  |  |
| 林業専用道開設延長（m） |  |  |  |  |

当年度事業箇所のみ記載

複数団地の場合は、団地名も記載

《実施年度計画》

【現在の状況】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 植栽年度  調査項目 | 団地名  S54年度 | 年度 | 年度 | 年度 |
| 林　齢　　　　　（年生） | 38年生 |  |  |  |
| 面　積　　　　　　（ha） | 5.00 |  |  |  |
| 間伐木樹高　　　　（m） | 18.0 |  | 利用間伐調査書（別紙２）の森林の現況より |  |
| 間伐木直径　　　　（cm） | 26.5 |  |  |  |
| 立木成立本数　　（本/ha） | 1,200 |  |  |  |
| 根元曲がり高　　　（m） | 1.50 |  | 間伐プロット調査表  （別紙１）より |  |
| 林内地形傾斜　　　（°） | 15 |  |  |  |

《事業実施計画》

【施業予定期間】

　　　　　令和 2年 ○月 ○日～令和 2年 ○月 ○日（○○○日間）

【施業内容】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施業の概要 | 間伐方法 | 間伐率 | 作業道開設 |
| 列状（○残○伐）・定性間伐  のいずれかを記載 | 20% | 300m |

【利用間伐作業システム】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 作業種 | 伐　倒 | 集　材 | 造　材 | 搬　出 |
| 使用機械 | チェンソー | スイングヤーダ  ウインチ | プロセッサ | フォワーダ  4ｔ車 |
| 距　離 | － | 20m | － | 200m |

《森林施業プランナーからの事業実施提案ポイント》参考資料３、４参照

|  |
| --- |
| 利用間伐と森林作業道事業の基本的な考え方及び、考慮した点などの施業実施結果により期待できる森林整備等における効果など。  ◎間伐事業について  使用機械のリース先名  ◎高性能林業機械リースについて  提案法線・延長の決定理由、工夫点  ◎森林作業道について  県行造林、民有地、公社団地等  面積を記載  ◎周辺造林地と一体施業（有･無） |

《販売実施計画》

売払精算金額積算表（別紙３）を参考に記入

【販売・運搬計画】　（搬出材積　　　　　　　　m3）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 内訳 | 販売金額  （円） | 売払精算金額  （円） | 販売手数料  （円） | 運搬単価  （円） |
| 金　　額 |  |  |  |  |

《森林施業プランナーからの販売実施提案ポイント》参考資料４参照

|  |
| --- |
| ◎販売計画について  販売計画、運搬計画の基本的な考え方及び  考慮した点（市町村等の運搬補助を活用）などを記載。  直接事業費・補助金額は、  利用間伐と森林作業道開設の  合計を記載する |

《収支計算》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　　分 | 金　　額 | 備　　考 |
| 直接事業費（利用間伐） | 円 |  |
| 直接事業費（森林作業道） | 円 |  |
| 直接事業金額（利用間伐） | 円 | 直接事業費×消費税 |
| 直接事業金額（森林作業道） | 円 | 直接事業費×消費税 |
| 公社雑費 | 円 | 利用間伐税込の10.5% |
| 補助金額 | 円 |  |
| 売払精算金額 | 円 |  |
| 公社収支 | 円 |  |

列状・定性、ha当り材積を記載

公社雑費は税込の利用間伐経費に、

10.5%乗じた金額（小数点以下切捨て）

【事業体名】

【住所・電話番号】

【森林施業プランナー氏名・認定番号】

【添付資料】

成果品の完了写真にも必要になってきますので、実施前の写真は撮り逃しのないように撮影してください。

《施業図面》

　・別紙施業図参照

《現況写真》

　・間伐事業実施区域（ha当たり最低１枚を添付）

　・森林作業道開設起・終点、必要に応じて分岐点などの中間地点

《間伐プロット調査表･利用間伐調査書》

　・別紙１…間伐プロット調査表参照

　・別紙２…利用間伐調査書参照

《販売・運搬計画》

　・別紙３…売払精算金額積算表参照

《事業体の概要》

　・下記の項目を記載してください。

　　【事業体名】

　　【代表者氏名】

　　【所在地】

　　【従業員数】

　　【主な事業内容】

　　【公社造林の実績】

《事業実施体制》

　・下記の項目を記載してください。

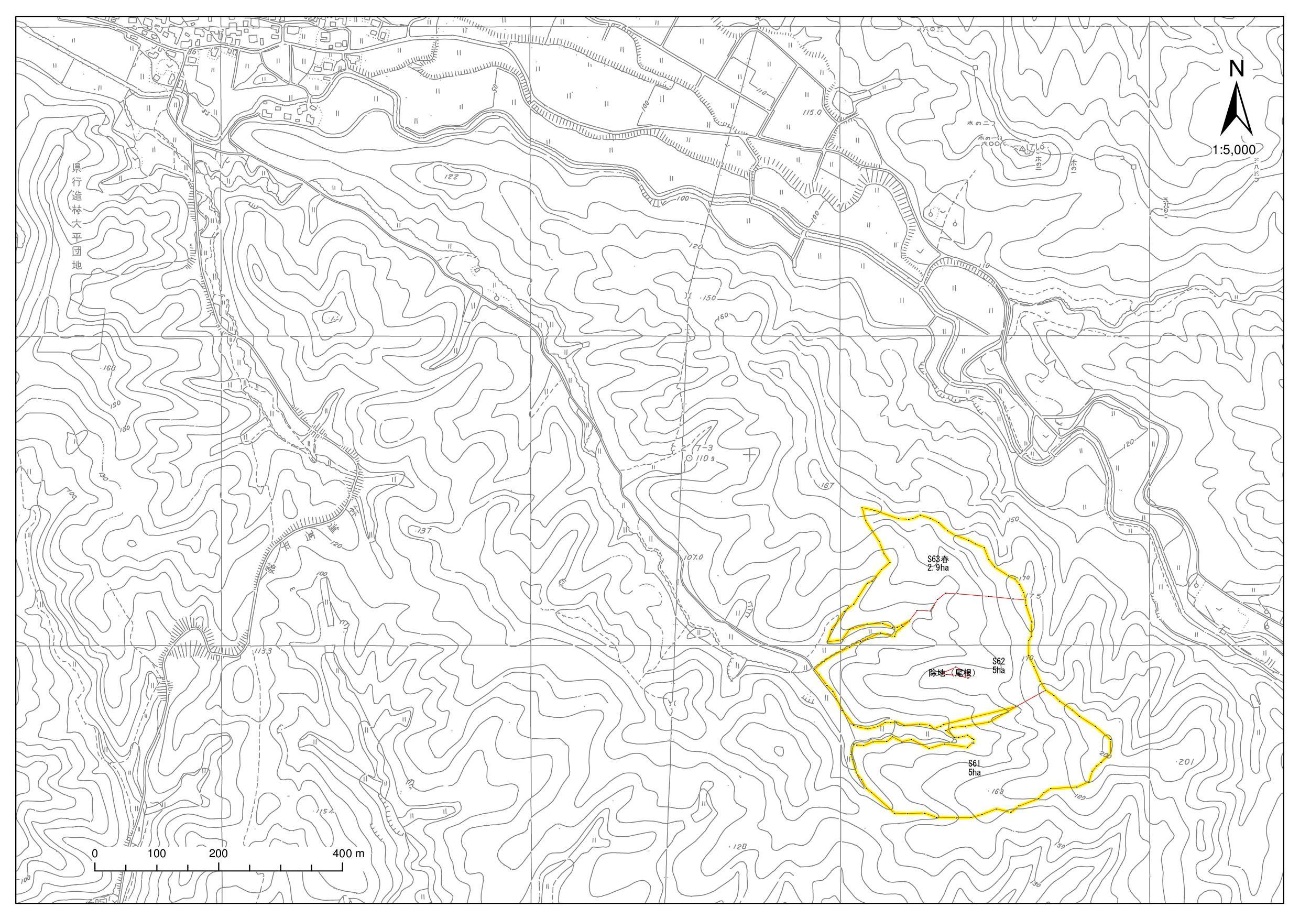
　　【現場組織体制表】

　　【実施工程計画表】

　　【緊急時連絡系統図】

　　【安全衛生管理組織図】

《施業図面の作成例》



利用間伐面積12.90ha

R2実施：5.00ha

R3実施：7.30ha

　　　　　（切捨0.60ha）

森林作業道1,600m

R2実施：1,000m

R3実施：600m

利用間伐の施業範囲

R3実施範囲

プロット：□

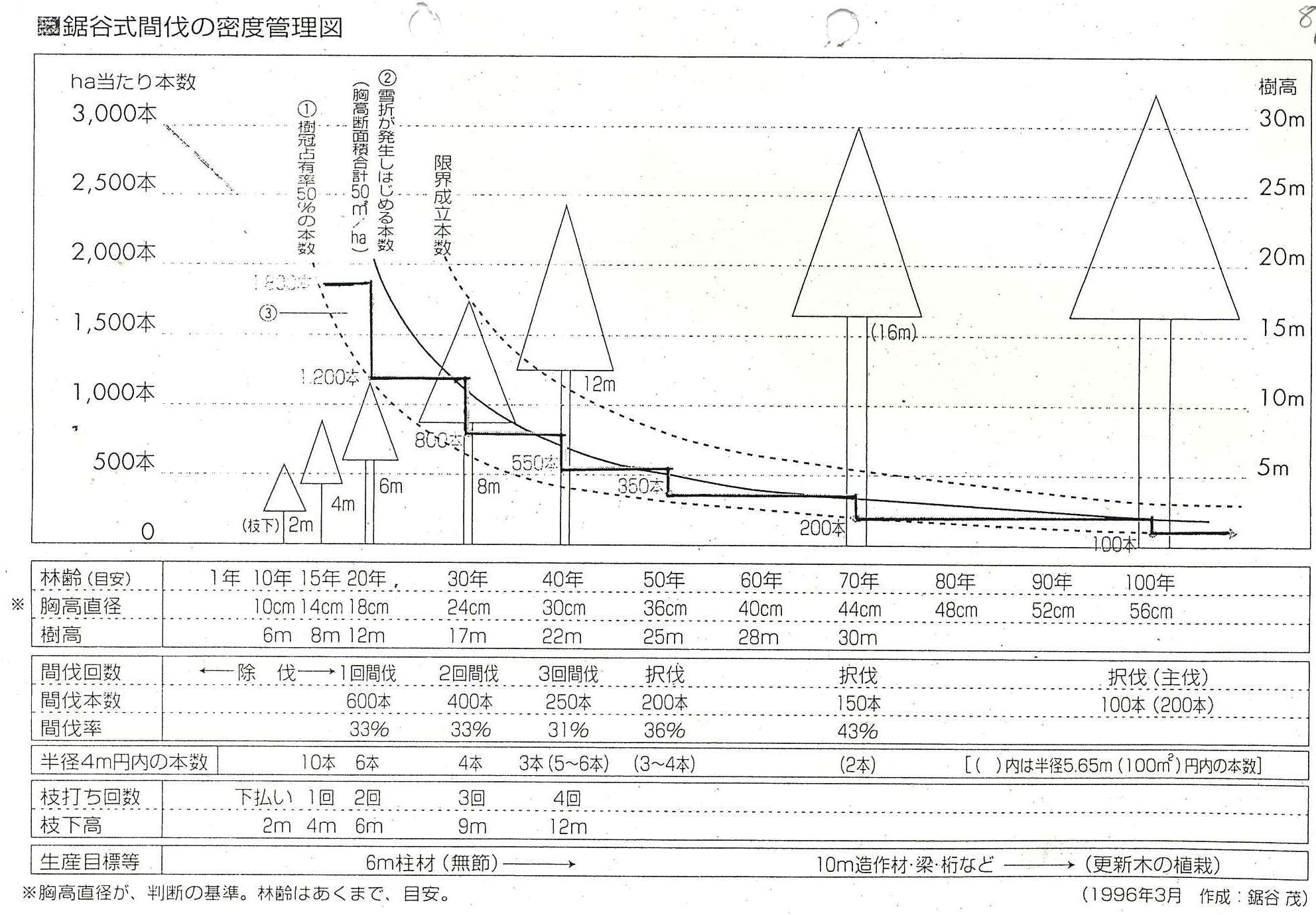
R2実施範囲

森林作業道：

山土場

切捨間伐の施業範囲

※施業図面の作成にあたっては、当年度の施業範囲と次年度の施業範囲が分かるように記載しましょう。地形などの条件で木材の搬出が不可能な範囲が団地内にある場合でも、施業が可能であれば切捨間伐範囲として提案の中に含めてください。森林作業道の開設も２年に分けて施業する場合、当年度の開設範囲と次年度の開設範囲が分かるように記載してください。

《密度管理図を用いた事業実施提案ポイントのイメージ》

※事業実施提案ポイントの記載を文章で書くのが難しい場合もあると思いますので、説明資料として上記のような鋸谷式間伐の密度管理図やスギ林分密度管理図などを用い、主伐までのプロセスを示しながら今回の施業における効果を箇条書きなどで説明したりするのも良いかと思います。

◎箇条書きの記載例（スギ林分密度管理図をベースとした場合）

・現在の林況はS57植栽で成立本数1,463本/ha、平均樹高16.2m、平均胸高直径24.8cmで胸高直径ベースでみるとかなり過密な状況になっている。

・25%の間伐を行なうことで、成立本数を1,097本/haにし、急激な間伐による風雪害の影響を避けつつ、間伐としての効果が発揮できるようにする。

・次回の施業は平均樹高21.0m、平均胸高直径30.0cm前後になるころに25%程度の間伐を行ない、林況を見ながら主伐までの間にさらに１回程度の間伐を行なうことが考えられる。

《利用間伐作業システムのイメージ図》

【既設作業路を小運搬する場合の一例】

集材距離

既設作業路

山土場

中間土場

搬出距離（全距離の1/2）

共販市場・加工工場へ

運搬距離

【売り払い先へ山土場から直接運搬する場合の一例】

搬出距離（全距離の1/2）

共販市場・加工工場へ

山土場

山土場

運搬距離

※事業実施提案ポイント及び販売実施提案ポイントの記載内容は、実際の現場条件により記載内容が変わってくると思います。参考資料４の利用間伐作業システムのイメージ図のように、既設作業路が狭くて小運搬が必要な場合や、山土場に大型車が横付けできる場合など、現場によって条件が違いますので、それだけで間伐経費や売り払い清算金額が変わってきます。そのような現場ごとの条件の違いに応じた工夫などを記載すると良いと思います。

◎記載例

・既存の作業道ではフォワーダによる搬出距離が長くなるので、新たに森林作業道を開設し、山土場までの搬出距離を短くすることで、間伐事業費を抑える。

・フォワーダによる搬出距離が長くなるため間伐経費は高くなるが、中間土場から先は20tトレーラーでまとめて搬出可能であるので、運送会社との連絡を密にし、材の運搬経費を抑えるようにする。